

子どもの成育環境向上を推進 中学生までの医療費無料化

明けましておめでとうございませう。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中、皆様からの温かいご理解とご協力を賜り、市政運営を進めることができましたことに、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、記録的な猛暑がもたらした農産物への高温障害は、農業が疲弊しているなか、農家を更なる苦境へと追い込むこととなり、特に稲作農家は、これからの農業経営に強い不安を抱えていることに、大変憂慮しております。

基幹産業が農業である本市は、農家経営を支えるべく再生産に向けた融資の利子補給、種子助成などの支援を速やかに実施いたしました。また、競争力の強化に向けた農産物のブランド化いわゆる「つがるブランド」に取り組んで参りました。

こうした状況のなか、わが国政府は、例外なき関税撤廃を原則とするTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加問題について「関係国との協議開始」の方針を決定しております。

TPPに参加することとなった場合には、農業はもとより、その関連産業を含めた地域産業に多大

な影響を及ぼすことが予測され、本市の産業・経済も計り知れない打撃を受けることとなります。

食料の自給率向上、国際化に対応できる競争力の強化、戸別所得補償制度による農家所得の安定など重要な課題について、実効性のある対策を講ずることなく、拙速な判断のもと参加することには強い懸念を抱くとともに、国土や環境の保全、食料の安全保障の面からも農業を犠牲にしてはならないと考えております。

東北新幹線が全線開業となり、首都圏との交流が、より一層拡大し、産業、経済、文化活動など多方面にわたり多大な効果が得られるものと期待しております。この機会を地域経済活性化の大きなチャンスと捉え、本市の自然や食文化、伝統文化などの中から選定した22の「つがるの宝」と「つがるブランド」を県内外へ広く発信するなど、さまざまな施策を展開して参る所存であります。

本市を舞台に、つがる市フィルムコミッションが撮影、制作したショートムービー「けの汁」もまもなく公開される予定であり、新たな観光客の掘り起こしなど誘客に繋がるものと期待しております。さて、市政の進むべき方向性を導き出し、主要施策などを定めた

「つがる市総合計画」が策定して5年経過したことから、今後の市政運営の指標として、後期計画の策定を進めております。

市民と共につくる市政を念頭に、新たな成長戦略を描くことで、これまで進めてきた市民主体のまちづくりを次の段階へ発展させて参ります。

本市の課題の一つである財政の健全化につきましても、就任直後から次世代に負担を残さないよう、財政規律を保った市政運営に努めて参りました。その結果、第1次行政改革の5年間で、職員110名の削減などにより37億円以上の経費縮減を達成しており、今後5年間に於いても、第2次行政改革を実施することで、引き続き財政の健全化に努めて参る所存であります。

安心・快適・やさしいまちづくりへの取り組みでは、自治組織の活動に必要な備品等の整備や集会施設の改修等に要する経費を助成することで、自治会活動を支援し、また、従前より取り組んで参りました、教育環境の整備として、現在向陽小学校の校舎、体育館の全面改築を進め、本年12月の校舎完成をめざしております。

児童福祉施策につきましては、現行の乳幼児医療費給付制度に加

え、本市独自の子育て支援事業として、本年4月から医療費全額助成（医療費無料化）の対象を小・中学生まで拡大し、生活の安定と子どもの成育環境の向上を推進して参ります。

この他、成人病センターの診療所への移行、雇用対策など課題が山積しており、今後も継続的な課題の解決と重点施策に積極的に取り組んで参ります。

何よりも市民が、笑顔にあふれる生活ができるよう、また、このまちに住んでいることに幸せを感じ誇りと希望が持てるよう、全力で臨む所存でありますので、より一層のご支援とご協力をお願いするとともに皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新春のご挨拶いたします。

つがる市長
福島弘芳
Fukushima Hiroyoshi



さらなる議会の飛躍をめざして

迎春

2011年

年頭あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

平成23年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと存じます。

また、日頃から市政の推進と市議会活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、いまだ景気が低迷し厳しい経済情勢が続くなか、夏の猛暑により、農作物に高温障害による品質の低下などの被害が発生いたしました。特に米においては、収量減や等級低下を招き、加えて、米価が下落したことにより、農家経営では販売収入の減少となり、本市の基幹産業である農業経営に大きな痛手となった年でありました。そういう状況を踏まえて、市議会といたしましては、市当局に対しまして被害農家への市独自支援策を推し進めるよう働きかけ、種子助成及び農業再生産資金に関わる利子助成事業を実施する運び

となりました。

県に対しましては、平成23年度から本格実施される「戸別所得補償制度」について、早期の制度確立に向けて国に働きかけしていただくことと、米の販路拡大に積極的に取り組みしていただくよう要望したところであります。

このような中で、国においてはTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の協議に参加を検討することを表明いたしました。この協定に参加することになれば、国内の農業経営に大きな影響を与えることから、本市議会といたしましては、参加交渉に反対する旨の意見書を国に提出したところであります。

また、本市の財政状況も厳しさを増していることから、基地交付金等の増額に向けて、国に対し要望活動を行なったところであります。

本市の重点施策であるブランド化推進のため、メロン・スイカ及びリンゴの販路拡張のため、市長とともに東京、大阪、名古屋等の

販売促進の店頭に立ち、農産物を主力に「つがるブランド」を紹介しているところでございます。

東北新幹線全線開業に伴い、本県への観光交流人口が増加するものと思われることから、今まで「つがるブランド」を発信し続けてきたことの成果が、本市への観光・経済面につながってくれることを期待しているところであります。

教育行政においては、向陽小学校舎も本年12月に完成する予定であり、次代を担う子どもを育成するための教育環境が確実に進んでおります。

さて、我々議員の任期も、本年2月10日までとなりました。この4年間、私も市議会は、市の将来像である「郷土の特性を活かした誇りのもてるまち」「人間（ひと）を尊重し、思いやりと優しさにあふれるまち」「市民の知恵と力

で創る活力のあるまち」の実現に向けて、本市の重要な方針や条例、予算などを議決するなど、議会の監視機能を十分に発揮し、市民の福祉向上に努めて参りました。残された短い期間ではありますが、任期満了まで、精一杯職責を果たす所存であります。

市民の皆様には、今後とも引き続き、市議会活動に対しご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が市民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

つがる市議会議長

今 彰造

Kon Shozo

